

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等ディサービス みらサボ		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 18日	～	令和6年 11月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 1日	～	令和6年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数) 4
○事業者向け自己評価作成日	令和6年 12月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	今後に向けて、基本の挨拶やマナーを一緒にやり出来るまで何回もやっている。 お弁当時はきちんと座って食べる。なた、きちんと噛んで食べる。残さない様に職員からも声掛けを行い嫌いな物を少しでも接種できる様に保護者の方にも協力して貰っている。	まずは絵本やイラストを見せ一緒に練習を何回もやり出来るまで褒めて行くようにしている。(本人達の肯定意識の向上に向けている)	きちんと出来るまでスモールステップでも根気よく何度も繰り返し返していく事が必要と考える。職員も一緒に寄り添って行っている。弁当時はきちんと挨拶をしながら咀嚼の状態を見たり嫌いな物を1つ入れて頂く様に保護者の方にも協力し完食出来るように声掛けを行い楽しく食育が出来たらと考える。
2	利用時の状態を観察し職員間で状態の共有を行い、次の支援はどうしていいか考え保護者の方にも協力して頂いている。	良い行動の時は褒め、してはいけない行動や悪い行動に関しては職員間でも同じ対応で説明し本人が納得するまで何回も行おう。出来た時は、褒めていく。(本人の肯定意識を向上)	個別で出来ないことも、小集団だと出来る場合がある。初めは個別支援から入り小集団に参加させて行くほうが良いかと考えたりもする。
3	所どころにイラストや絵を表示しており、利用者様も興味を持ちながら一緒にする事ができてきている。	利用者様の目線に合わせて片付ける場所や手洗いや声の大きさ、トイレでの排便時の拭き方を分かりやすく表示している。支援に関する絵本や帰りの時間に絵本の読み聞かせを行っている。	トイレに関してはまだ付き添いが必要なため、プライバシーを守りながら付き添いが必要。一人で出来れば褒めていく。利用者様が分かりやすいイラストや絵を増やすのも1つの手である。

	事業所の弱み(※) だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員全員が同じ対応に関わるようにしているが、非常勤の職員は見慣れない為、いつもと違う行動になってしまう。	どうしても利用者様は賢く人を見て行動するところがある。いつもいる職員が声を掛けると時間は少しかかるが違う行動になってしまいう。	拘りや人を試す行動をしたとしても職員が同じ対応ならいいが、やはり出入りする職員は一定の出入りや関わりを行う必要がある。慣れるに対しても保育ではなく療育という考えを持ってほしい。
2	現状、午前中の療育の為、保育園や幼稚園を途中抜け出での療育になる為、関係機関の方々に迷惑をかけていないかと思ってしまう。	どうしても職員の数が少なく利用日が重なる為、保護者の方々や関係機関との連携は必須になってくる。保護者の負担になる事もある。	今以上に関係機関との連携を図る必要があると共に家族様に協力を得られるように説明していく必要がある。また職員の数を増やす事も大切である(現在募集中である)
3	開業から5か月の為まだ、地域の方々との交流ができていない状態である。	療育時間も少なく、色々な方々との関わりが持てていない現状である。	避難訓練や何か地域でも交流会があれば参加していけるように考えていく必要がある。

事業所名	児童発達支援・放課後等ディサービス みらサポ		公表日	令和6年12月26日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		集中しやすい環境やリラックススペースを確保している。運動スペースも区切りしている。	利用者の特性に応じて、もっと集中できる個別療育を出来たらと考えている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		最低基準は満たされている。	利用者の対応で個別療法や他の対応時に職員がもう少し増えれば対応しやすい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		所どころに段差がある為、利用者様がつまずく所があるのと、トイレが共同の為、子供には大きく感じるところがある為、見守りしている。	トイレを始め、子ども合わせたトイレが必要である。段差に置いては、その都度利用者様に説明していく必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		整理整頓は行っており、毎日危険物のチェックは行っている。スペース的には広く使える様にはしている。	今後も整理整頓は行い利用者様が見やすい状態にしていく。危険物チェックは現状通り行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個室はある。鍵は書けない様にはしている。リラックススペースもある。	必要に応じてプライバシーを守りながら今後も行っていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		○	時間が出来た時は行っているが中々、時間を確保するのが難し現状ではあるがその都度、状態等の共有は行っている。	面談を行い職員一人ひとりの目標を設定してもらっているが時間がなく面談に至っていない為、今後は時間を作り行う必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今回、初めての自己評価であるが管理者からの保護者さんの意見はその都度共有し職員全員で考えている。	今後も、現状維持は行いたい。問題が起こらない、クレームに繋がらない様に維持したい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		その都度、職員から意見が上がると、職員間で共有し問題解決策を考えている。	現在維持
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第3者や外部評価の方は設けていない。	外部からの意見は聞き取り入れていくのは必要と考える。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員間での勉強会は行っているが、資料とは違い実践で起った事を元に行っている。	外部研修には参加できる者は参加しているが、時間が中々合わない事も多い。職員が増えると参加しやすい為、現在職員の募集を行っている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		きちんと職員間で話を行い公表している。	変更や追加があれば修正を行う。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		基本定な事はきちんと入れてる。家族様の意見も目標に取り入れ、その目標に合わせた計画書を作成している。	今後は家族様も意見も取り入れつつ、日頃から観察した状態での目標と支援を取り入れて行きたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		きちんと職員間で話を行い問題や気になる事を検討しながら作成している。	今後も同じように行っていきたい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有した支援は行えている。また臨機応変にも対応している。	今後も現状維持
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントはその都度行っており、職員間でも共有や意見交換はおこなっている。	今後も現状維持
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		今年からフォーマットも違い5領域は必ず入れており、具体的には記載している。地域支援は中々難しいですが、現在地域の自治会の方との交流は来年の避難訓練を予定している。	今後はもっと、本人支援以外の部分は今後はもっと具体的に記載できるようにしていきたいと思います。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	皆と話し合いながら出来ている。	今後も同じように行っていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		臨機応変にも応じている	今後も現状維持
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		適宜出来ていると思われる。本人の状態に合わせ臨機応変もやっている。	今後も現状維持
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前は短時間で打ち合わせを行っている。支援側もお互いに情報共有を行って出来ている。	もう少し、時間が確保が出来れば焦らず話し合いが出来るため時間確保を作っていく。それには職員数が増えていく必要がある(現在は募集中)
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	終了後も中々時間が取れず、その都度情報共有を行っている。	時間が取れる様にしたいが中々難しい。職員の充実が必要(現在募集中)
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々、日誌は付けており家族様間でも共有し今後の対応も考えている。	今後も現状維持
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		○	問題がある利用者様には行っているが8月から開所のため6か月は出来ていない。	定期的には見直しはおこなっていく。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		いつも声掛けがあり、参加させて情報の共有を行い今後の支援を考えている。	今後も現状維持	

関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	本人の状況が不安定な時は行っており情報の共有はできている。	今後も現状維持
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	行っている。本人を尊重しながらと共に本人に合わせて支援が出来る。情報は保護者さんにも出来ている。	今以上に連携及び連携が出来る様に行っていく必要がある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	まだ、8月開所のため移行の時期に事業所は携わっていない。	移行時は情報共有を行っていききたい
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	情報の共有は出来ているが、助言は受けていない。	分からない事は、当事業所から確認していく様にします。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	現在は交流できる機会や時間がなく出来ていない状態である。	今後は、交流できるようにしていく様に心がける。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	連絡帳及び送迎時、オンライン・電話等で状態の提供及び今後の課題についても話している。	今後も現状維持
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	家族支援は行っているが、ペアレントトレーニング等の研修会や勉強会は家族様の意見も無く、職員数も少ない現状である。	参加できる研修や勉強会が出来る体制を整えたいのはある。(職員の補充)
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時の時は保護者の方には資料に沿って説明している。質問があれば、その都度説明している。	今後も現状維持
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	保護者の方や利用者様の意見や話を行っており意向は聞いて行っている。利用者様に関しては、時々話をして本人の話を聞いている。	今後も現状維持
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	目標を始め支援内容も説明し同意は得ている。	今後も現状維持
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	家族様から問題行動や悩み事は、その都度行っているのと月に一回は話をする機会を作っている。	今後も家族様の支援は行っていき信頼関係を築く必要がある。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	現在は行っていない。保護者さんからの交流したいという言葉もなく、共働きをしているため、父母会などは考えていない。	交流は必要だと思うが、家族様の要望があれば考慮していきたいとおもう。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	なるべく対応できる所は行っている。	職員の人員が増えれば今以上に対応が取れるかと思う(現在募集中)
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	手紙や連絡帳、送迎時に行っている。またはオンラインや電話での対応も行っている。	SNSに関しては今後、職員数が増えれば役割分担で行っていききたい(現在は職員の募集中)
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	厳重に行っている。	今後も現状維持(徹底する)
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	プライバシーを守りながら対応はさせて頂いている。	今後も現状維持
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	時間がなく参加や招待も出来ていない現状である。	今後は地域の方の協力も得たいので交流は行っていききたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	マニュアルは策定している。しかし家族様までの周知は出来ていない。大体の大まかな事は習耐えている。	利用者様たちの避難訓練の様子や、説明は行っていった方が良かったため、出来る範囲で発信していきたい。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	児童発達の場合、療育時間が短いため、利用者様を含めた大きな訓練は出来ていない。	BCPは策定出来ているが児童発達に関しては療育時間が少ないため、中々出来ていないが出来るように今後考えたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	契約時に確認は行っている。内服薬の確認と共に行っている。	今後も現状維持
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	現在は食物アレルギーの利用者様はいないが確認は行っている。	今後も現状維持
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全管理の説明を利用者様には説明している所である。	利用者様に関しては、まだよく理解出来ない為、分かる様に説明している。今後も行っていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	毎日、安全確認は行っている。家族様と連携は取れる体制にはしている。	今後も現状維持
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハットは共有している。同じことが繰り返ささないように。	今後も現状維持

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		防犯カメラも装備しておりフロアー自体が見える状態にしている。	今後も現状維持
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、ごどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に家族様にフローシートを記載し説明し同意は行っている。	今後も何かあれば家族様には説明し記録に残すようにしていく。

○事業所名	児童発達支援・放課後等ディサービス みらサポ		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 18日		～ 令和6年 11月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和6年12月 1日		～ 令和6年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	どの児童に対しても職員が同じ対応で接している。	どの利用者様も良く人を見て認識している為、日頃より職員が役割分担にはなっている所があるが、基本職員みんなが同じ対応で接している。	職員も日頃から利用者様を始め肯定意識の向上に向けてような言い方を心掛けている。
2	利用者様の観察を行い個性に合わせた支援の取り組み。	支援中の様子を観察していたり接して思う事を共有し次の支援時はどうするかを検討し様子を見ている。(臨機応変に努めている)	どうしても個別になると職員が足りない場合がある。今後安全面に対しても職員の充実は必要(募集は行っている)
3	社会に出ても大丈夫なように挨拶やマナー等に関しては始めに行っている。	社会に向けて一番の事と思い、職員と一緒に挨拶の練習等を行い出来るように何度も行っている。出来た時には褒めて言っている。	利用者様が増えるにつれ、今後も他の新しい利用者を始め、地域の方々にも挨拶が出来るように交流の場を提供したい。

	事業所の弱み(※) だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	どうしても利用者様の個性や状況を観て個別療育や話をする上で、出来る職員と出来ない職員がいる。	事業所ではやはり保育とは違うため、療育に必要な知識や興味を持って貰う方が良い。	療育に対して興味のある方や特性を分かって接して欲しい事は必要と考える。ただの保育とは考えて欲しくない所はある。
2	まだ開業して5が月程にて、地域との交流が少ない。	始めたばかりで手探り状態である。地域の方には挨拶周りには伺ってはいるが、中々交流できる機会が作れていない。	今後、避難訓練やたの交流できる場所を考えていく必要がある。
3	支援中、どうしても情緒不安定(利用者様が居れば1～2名の職員が関わらないといけない時があり見守りや他の支援の職員が必要となってくる)	思っている以上に不安定になる利用者様が多いこと。その利用者様を見守りながら支援も必要になる為、職員が思っている以上に多い方が良い。	個別に対してや不安定な利用者様の対応を考えると職員の数が多い方が良い。安全を重視しないといけない他の支援する職員も必要と考える(現在、募集中である)

事業所名		児童発達支援・放課後等ディサービス みらサポ		公表日	令和6年12月26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		集中しやすい環境や運動スペース・リラックスペースは確保し区切りを行っている。	利用者様の特性に応じて、もっと集中できるように工夫をしたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	○		最低基準は満たされている。	利用者様の対応で個別に追われると、どうしても職員の充実を図りたい（現在募集をしている）
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		所どころに段差がある為、利用者様がつまづく所があるのとトイレが共同の為、トイレの使い方を絵やイラストに表示していますが付き添って見守るがある。	トイレを始め、子どもに合わせたものが必要と思われる。段差に置いては、その都度利用者様には説明していく必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、整理整頓は行っている。玩具も消毒はしており、安全確認はおこなっている。	今後も整理整頓は行い利用者様が分かりやすい状態にしておく。危険物のチェックは現状通り行っていく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		きちんと本人と始めに話をし、どの部屋を使うか決めている。	鍵はかけないように装着はしていない。一人の時は見守る体制を行う。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○	現在、個別で面談が出来ていない状態である。	職員と面談し今後の目標や現状の状態を把握する必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今回、初めての自己評価の結果を見て振り返りを行っている。	保護者目線からは違う所があるが、意見を聞いて取り組んでいきたいと思えます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		その都度、職員から意見が上がると、職員間で共有し問題解決策を考えている。	現状維持
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在、第三者の方の評価は受けていない。	今後は他の方からの評価も必要とかがえる。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		時間があれば勉強会は行っている。外部研修が中々受講できない状況である。	職員の補充が出来れば外部研修にも参加を促したい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		きちんと職員間で話し合い公表している。	今後、状況に応じて修正や追加を行っていく。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	○		保護者とも話しを行い、日頃の状態を観察して計画者は作成している。	今後も現状維持
	13	放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		きちんと職員間でも話し合いを行い問題や気になる事は検討しながら作成し支援を行っている。	今後も観察しながら行っていく。
	14	放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		きちんと共有は行い支援は行っている。臨機応変にも対応している。	今後も現状維持
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントはその都度行っており、職員間でも共有や意見交換はおこなっている。	今後も現状維持
	16	放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		今年からフォーマットも違い5領域は必ず入れており具体的には記載している。地域支援は中々むずかしいが、現在地域の自治会の方との交流は来年度の避難訓練を予定している。	今後は、本人支援以外の所も具体的に記載できるようにしていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	皆と話し合いながら出来ている。	今後同じように行っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		状態を観ながら臨機応変に対応している。	今後も現状維持
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等ディサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		適宜出来ていると思われる。子どもの状態に合わせて臨機応変には対応している。	今後も現状維持
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前は短時間で打ち合わせを行っている。支援側もお互いに情報共有を行ってできている。	もう少し、時間が確保できれば焦らず話し合いが出来るため時間を確保を作っていく。それには職員数は増えていく必要がある（現在募集中）
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	終了後も中々時間が取れず、その都度情報交換をおこなっている。	時間をとれる様にしたいが中々難しい現状である。職員の充実が必要（現在、募集中）
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々、目録は付けており家族間でも共有し今後の対応も考えている。	今後も現状維持
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		○	問題がある利用者様については行っているが8月から開所のため6か月はできていない。	定期的に見直しは行っていく。
	24	放課後等ディサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		なるべく出来る様に支援はおこなっている。	地域支援や移行支援は中々具体的な事は進んでいない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		本人と話をする時間は作っており、本人の意向も聞いている。	今後も寄り添いながら話を聞けたらと考える。

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	参加させて頂いている。情報の共有や今後の課題を確認し支援に反映している。	今後も担当者会議には参加を行い情報の共有や連携を行いたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	本人の状況が不安定な時は行っており情報の共有は出来ている。	今後も現状維持
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	行事や長期休み前など、保護者の方から連絡があれば、学校や関係機関とは連携を図り送迎時間を調整している。	今後も現状維持
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	まだ8月開業にて、移行支援時の情報共有は出来ていない。	今後、参加出来て共有できたらと考える。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	まだ8月開業にて、移行支援時の情報共有は出来ていない。	今後は、他の事業所を始め連携機関との情報共有を行ってきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	共有は行っている。	当事業所から確認していく方向とする。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	現在、時間がなく出来ていない状態である。	今後は、時間を確保し交流が必要と考える。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	参加していない。	時間が無いのと、職員数が増えると参加しやすい（現在職員の募集中）
	34	日頃かこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	毎回、連絡帳や送迎時、電話やオンラインで話を行い共有は行っています。	今後も現状維持
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	現在、時間と職員数が足りない状態であり研修会等が出来ていない状態です。	時間も出来て、職員数が増えると出来る可能性があるが、家族様の意見も確認しながら行いたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時にきちんと説明は行っています。	今後も現状維持
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	月に1回は時間を確保し保護者の方の意見も尊重しながら取り組んでいる。	今後も保護者及び本人の話を尊重し話を傾聴して支援に取り組んでいく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	きちんと説明しています。	今後も現状維持
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	月に1回は時間を取り話を傾聴している。その他の時も質問やどうしたらいいのかの時の連絡があれば対応させて頂いています。	今後も現状維持
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○	保護者の方からの意見が無く、共働きの家庭が多いため父母会は行っていない。	きょうだい同士の交流や保護者同士の交流は考えているが保護者の方からの意見等を考慮して考えていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	苦情に関しては少ないが、きちんと対応は丁寧に迅速にさせて頂いています。	今後も現状維持
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	手紙や電話で行っているがSNSは行って今氏。	現在は職員数も最小限である為、職員数が増えと役割分担を行いSNSを活用したい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	厳重に行っている。	今後も現状維持
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	プライバシー保持には努めている。	今後も気を付けていきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	現状、出来ていない。	今後は地域住民の方と交流を図りたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	マニュアルは策定出来ているが保護者の方には詳しくは説明していない。	時間が出来れば、徐々に拡大しながら訓練を行いたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	説明や簡単な訓練はしているが、先ずは説明しながらゆっくりと行っている。	来年は災害を考え地域の方を含め避難訓練を行いたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	契約時に確認はおこなっている。	今後も現状維持
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	契約時に確認はおこなっている。	今後も現状維持
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	毎日、整理整頓は行っている。玩具も消毒はしており、安全確認はおこなっている。	利用者様に関しては学校でも習っているが、本人達に分かる様に説明してから徐々に拡大訓練が必要と考える。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	家族様には安全確保ができたかどうかの連携は取れる様にしている。	何かあれば、連絡し詳細を伝える様にしている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハットは共有している。同じことが繰り返さないようにする必要がある。	今後も現状維持
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	防犯カメラも装備しておりフロアー全体が見える状態にしている。	今後も監視は行い気を付けていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	契約時にフローシートを記載し説明し同意は行っている。	今後も何かあれば保護者の方に報告し記録に残していく。